付録

困ったときの対処法

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、リコー修理受付センターにお問い合わせください。

■電源について

症　状	原　因	処　置	参照頁
電源が入らない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。	P.21 P.22
	AC アダプター（別売）が正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.24
	カードカバーが開いている。	カードカバーを閉じてから、電源を再投入する。	P.28
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.28
	バッテリーが消耗している。	充電する。または AC アダプター（別売）を使う。	P.21
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーと交換する。	P.22
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	ー	P.23
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	ー	ー

■撮影について

症　状	原　因	処　置	参照頁
シャッターボタンを押しても撮影できない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。または AC アダプター（別売）を使う。	P.21 P.22
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	電源を入れ、モードダイヤルを撮影モードに合わせる。	P.28
	シャッターボタンを押し切っていない（半押し状態）。	シャッターボタンを押し切る。	P.46
	スマートメディアがフォーマットされていない。	フォーマットする。	P.104
	スマートメディアに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいスマートメディアをセットする。	P.26 P.100
	内蔵メモリーに空き容量がない。	不要なファイルを削除する。	P.100
	スマートメディアの寿命。	新しいスマートメディアをセットする。	P.26
	カードカバーが開いている。	カードカバーを閉じる。	P.26

症　状	原　因	処　置	参照頁
シャッターボタンを押しても撮影できない。	セルフタイマー撮影になっている。	セルフタイマーボタンを押して、セルフタイマー撮影を解除する。	P.61
	フラッシュが充電中。	フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	－
	スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている。	ライトプロテクトシールをはがす。	P.25
	スマートメディアの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	P.25
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.106
液晶モニターが映らない。	電源が入っていない。または液晶モニターが暗い。	電源を入れる。または LCD LIGHT ボタンで液晶モニターの明るさを調整する。	P.38 P.28
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズ、AF ファインダー窓が汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	－
	被写体が撮影範囲枠の中央にいない。	フォーカスロックで撮影する。	P.49
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.49 P.64
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	撮影モードが音声（音声）、連写（連写）、動画（動画）、になっている。	撮影モードを静止画（静止画）、または文字（文字）に切り替える。	P.41 P.50
	フラッシュが発光禁止（発光禁止）になっている。	フラッシュボタンで発光禁止を解除する。	P.54
	マクロモードになっている	マクロボタンでマクロモードを解除する。	P.62
	ホワイトバランスがオートモード以外になっている。	ホワイトバランスをオートモードに切り替える。	P.59
	バッテリーが消耗している。	充電する。または AC アダプター（別売）を使う。	P.21
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が約 2.5m 以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.54
画像が明るすぎる。	被写体までの距離が近すぎる。	フラッシュボタンで発光禁止にする。	P.54
	露出がオーバーしている。	露出補正を行う。長時間露光を解除する。	P.57
	液晶モニターの明るさがおかしい。	LCD LIGHT ボタンを押して、液晶モニターの明るさを調整する。	P.38

症　状	原　因	処　置	参照頁
画像が暗すぎる。	暗いところを(⚡)（発光禁止）で撮影している。	⚡ ボタンで発光禁止を解除する。	P.54
	露出が不足している。	露出補正を行う。長時間露光を設定する。	P.57
	液晶モニターの明るさがおかしい。	LCD LIGHT ボタンを押して、液晶モニターの明るさを調整する。	P.38
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはフラッシュ撮影やオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.54 P.59
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	DISPLAY ボタンを押して表示を切り替える。	P.42 P.86
AF 動作中、液晶モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。	故障ではありません。	―
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	―

■再生 / 削除について

症　状	原　因	処　置	参照頁
再生できない。または再生画面が出ない。	▶（再生）になっていない。	モードダイヤルを ▶（再生）に合わせる。	P.83
	再生元が違う。	CARD / IN ボタンを押して、再生元を切り替える	P.83
	スマートメディアがセットされていない。または画像が記録されていないスマートメディアをセットした。	記録済みのスマートメディアをセットする。	P.26
	本機でフォーマットしていないスマートメディアを再生した。	本機でフォーマットし、記録したスマートメディアをセットする。	P.26
	正常に記録されていないスマートメディアを再生した。	正常に記録されているスマートメディアをセットする。	P.26
	本機で再生できない形式のファイルが記録されている。	ファイル形式を確認する。	P.82
	カードカバーが開いている。	カードカバーをしっかり閉じる。	P.26
	AV ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続する。	P.82

症　状	原　因	処　置	参照頁
再生できない。または再生画面が出ない。	モーターなどの雑音源が近くにある。	雑音を発生させている機器から離す。	ー
	スマートメディアの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	P.25
きれいに再生できない。	内蔵メモリーに異常がある。	内蔵メモリー内の必要なファイルをスマートメディアにコピーし、内蔵メモリーをフォーマットする。	P.91 P.104
	使用中のスマートメディアに異常がある。	記録済みの別のスマートメディアを再生し、異常がなければカメラは正常です。スマートメディアの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	ー
画像が消えた。	バッテリーが消耗している。	充電する。または AC アダプター（別売り）を使う。	P.21 P.24
	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.40
ファイルを消去できない。	消去メニューが表示されない。	モードダイヤルを ▶（再生）に合わせ、🗑ボタンを押す。	ー
	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.94
	スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている。	ライトプロテクトシールをはがす。	P.25
スマートメディアをフォーマットできない。	スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている。	ライトプロテクトシールをはがす。	P.25

■その他

症　状	原　因	処　置	参照頁
スマートメディアが入らない。	指定以外のスマートメディアをセットしようとしている。	指定のスマートメディアをセットする。	P.26
	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.26

症　状	原　因	処　置	参照頁
カメラのボタンを操作しても作動しない。	バッテリーが消耗している。	充電する。または AC アダプター（別売）を使う	P.21
	カメラの誤動作。	・一度電源を切り、電源を再投入して （静止画）、または （文字）に切り替える。 ・リセットする。 それでも作動しないときは、次のように操作してください。 1. カメラ本体のバッテリーを一度取り外し、再度セットする。 2. 再び操作する。	P.28 P.29 P.123
日付が正しくない。	正しい日付・時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.34
設定した日付が消えてしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	バッテリーを取り出した状態が約 20 日経過すると、日付がリセットされます。再度、設定し直してください。	P.34
設定してあるモードが変わってしまった。	モード保持が設定されていない。	モード保持を設定する。	P.104
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフが OFF になっている。	設定を解除する。	P.107
	AC アダプター（別売）を使用している。	AC アダプター使用時は、オートパワーオフは働きません。	―
ブザー音が鳴らない。	消音が設定されている。	ブザー音の設定を ON にする。	P.107
リモコン（別売）が働かない。	カメラのリモコン受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。	障害物を取り除く。 ＊リモコン受信部は、液晶モニタ左上にあります。	―
	リモコン受信部または送信部が汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	―
	リモコンのリチウム電池が消耗している。	新しいリチウム電池（CR2032）に交換する。	―
テレビに映らない。	ビデオ方式の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.109
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	―

エラーメッセージが表示されたとき

液晶モニターや液晶パネルにエラーメッセージやエラーコードが表示されたときは、次の方法で対処してください。

■液晶モニター

エラーメッセージ	対　処　法
（バッテリー残量表示マーク）	カメラのバッテリーの消耗を表しています。バッテリーを充電してください。
カードを入れてください	スマートメディアがセットされていません。スマートメディアをセットしてください。
カードをフォーマットしてください	スマートメディアがフォーマットされていません。このカメラでスマートメディアをフォーマットしてください。
内蔵メモリーをフォーマットしてください	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
カードエラー使えません	使用できないスマートメディアです。他のスマートメディアをご使用ください。
ライトプロテクトされています	スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られています。ライトプロテクトをはがして撮影してください。
プロテクトファイルです	プロテクトが設定されているファイルです。プロテクトを解除してから削除してください。
ファイルがありません	再生できるファイルがありません。記録済みのスマートメディアをセットしてください。
UNMATCHED　FILE	再生できないファイルを選択しました。
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を超えています。不要なファイルを削除するか、他のスマートメディアをご使用ください。
日付を設定してください	日付が設定されていません。操作する前に日付を設定してください。

■液晶パネル

エラーコード	対　処　法
CARD no.Fo	スマートメディアがフォーマットされていません。このカメラでスマートメディアをフォーマットしてください。
IN no.Fo	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
CARD Err	使用できないスマートメディアです。他のスマートメディアをご使用ください。

補足

・上記の方法を行ってもエラー表示が消えないときは、端子カバーを開き、リセットボタン（P.8）を押してください（工場出荷時の状態に戻ります）。それでも改善されない場合は、リコー修理受付センターまたはお買い上げ店までご連絡ください。

付録

記録枚数について

スマートメディアの容量別、画質 / サイズ別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

			4MB	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
静止画（枚）	2272 × 1704	F	2	5	11	22	44	88
		N	5	11	22	44	88	177
		E	10	21	43	86	173	347
		NC	0	1	2	4	8	16
	1120 × 840	F	8	16	33	66	133	266
		N	16	33	66	133	266	532
		E	30	62	124	249	499	998
		NC	2	4	8	16	33	67
	640 × 480	F	24	49	99	199	399	798
		N	45	90	166	332	665	1331
		E	82	165	332	665	1331	2662
		NC	6	12	24	49	99	199
文字（枚）	2272 × 1704		10	21	43	86	173	347
	1120 × 840		30	62	124	249	499	998
動画（分：秒）			00:20	00:41	1:22	2:46	5:32	11:05
音声（分：秒）			8:25	16:57	33:57	68:05	136:19	272:40

補足

- 同じ容量のスマートメディアでも、種類によって数値は多少異なります。
- 画質（圧縮率）は次のとおりです。
  - F ：ファイン
  - N ：ノーマル
  - E ：エコノミー
  - NC：非圧縮
- 内蔵メモリーは、8MB のスマートメディアと同じです。
- 文字モードは、記録可能枚数が 1（1 枚）と表示されていても、被写体によっては記録できない場合があります。

別売り品について

商　品　名	型名	備　考
AC アダプター	AC-3	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使います。
リチャージャブルバッテリー	DB-20L	カメラ本体のバッテリーです。
バッテリーチャージャー	BJ-1	リチャージャブルバッテリー専用の急速充電器です。
スマートメディア	FS-4 FS-8 FS-16 FS-32 FS-64	薄さ 0.76mm、切手とほぼ同じ大きさの記録メディアです。 1120 N（1120 × 840N）時の最大記録可能枚数は下記のとおりです。 4MB（FS-4）：最大約 16 枚 8MB（FS-8）：最大約 33 枚 16MB（FS-16）：最大約 66 枚 32MB（FS-32）：最大約 133 枚 64MB（FS-64）：最大約 266 枚
リモートコントローラー	DR-3	遠隔操作による記録、再生が行えます。
PC カードアダプター	FS-B53	スマートメディアをパソコンの PC カードスロットに直接セットできるカードアダプターです。
フロッピーディスクアダプター	FS-B10	スマートメディアをパソコンのフロッピーディスクドライブに直接セットできるフロッピーディスクアダプターです。

付録

海外旅行にお持ちになる方へ

AC アダプター（型名：AC-3）について

・交流 100V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。

・電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

保証書について

・本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。

・外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

再生等で現地のテレビを使用する場合

・映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。付属のビデオ接続ケーブルをご使用ください。

・本機では、テレビ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境にあわせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。

・海外へお出かけの際は、ビデオ方式をご確認の上、ご使用ください。

使用上のご注意

●このカメラは防水ではありません。水、雨、飲み物などがかからないよう十分に注意してください。水滴がかかったと思われるときは、リコー修理受付センターにご相談ください。

●カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。

●フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。

●ファインダーから直接太陽や強い光を見ないでください。

●視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください。

●事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。

●砂浜やホコリの多いところ（工事現場等）では、砂やホコリがカメラにつかないよう十分に注意してください。

●密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がるところや湿度の高いところにカメラを長時間放置しないでください。

● AC アダプター（別売り）は、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。

●液晶モニターや液晶パネルには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

●カードカバーや端子カバー、および電池ぶたを無理に引っぱらないでください。

●液晶モニターやカードカバー、端子カバー、および電池ぶたを持ってカメラを持ち上げないでください。

●液晶モニターを無理に開いたり、回転させたりしないでください。

●カメラを持ち運ぶときは、レンズや液晶モニターをぶつけないよう十分に注意してください。また、液晶モニターは閉じて持ち運びしてください。

●温度変化の激しいところでは、ボディーやレンズの内外に水滴が生じる結露という現象が発生し、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。

結露は次のようなときに発生します

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき

・湿気の多いとき

・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

お手入れと保管についてのご注意

■お手入れ

●レンズや AF ファインダー窓に指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。

●レンズや AF ファインダー窓にゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。

●海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、特に入念にふいてください。

●万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。

●シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●液晶モニターや液晶パネルの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。

●液晶モニターや液晶パネルの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されている溶剤を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

お手入れ時のご注意

(1) 必ず電源をオフにしてください。

(2) バッテリーや AC アダプターを取り外して、お手入れしてください。

■保管について

次のような場所での保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。

●高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所

●砂、ほこり、ちりの多い場所

●振動の激しいところ

●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ

●強い磁場の発生するところ（モニター、トランス磁石のそばなど）

主な仕様

カメラ本体

■総合

項目	仕様
●ビデオ信号方式	：NTSC 方式、PAL 方式
●電源電圧	：充電式リチウムイオン電池　3.7V
	：AC アダプター　5V
●外形寸法	：135.4mm（幅）× 74.0mm（奥行き）× 26.6mm（高さ / グリップ部除く）
●質量	：本体　約 270g（バッテリー別）
●使用温度範囲	：0 ℃～ 40 ℃
●使用湿度範囲	：85% 以下
●保存温度範囲	：-20 ℃～ 60 ℃

■カメラ部

項目	仕様
●使用撮像素子	：総画素数 413 万画素
●有効画素数	：395 万画素
●レンズ	：ズームレンズ　F:2.6 ～ 3.4
・焦点距離	：f:7.3 ～ 21.9mm（35mm 換算 35 ～ 105mm）
・最短撮影距離	：約 24cm（広角時）
・マクロ撮影距離	：約 1cm ～ 24cm
・デジタルズーム	：1.4 倍、1.8 倍、3.6 倍
●ファインダー	
・タイプ	：実像式光学ズームファインダー
・視度補正	：有り（-2 ～ +1dpt）
●モニター表示部	
・画面サイズ	：2.0 型
・種類	：TFT アクティブマトリックス方式
・画素数	：約 20 万画素
●ホワイトバランス	：オート／固定（屋外、曇天、白熱灯、蛍光灯）／マニュアル
●露出調整	
・測光感度分布	：マルチ、中央重点、スポット
・露出補正	：自動逆光補正／マニュアル露出補正± 2.0EV（0.25EV ステップ）
・測光方式	：TTL-CCD 方式
・フラッシュ AE	：あり（日中シンクロ　あり）
・シャッター	：静止画；1 ～ 1/2000 秒、 動画；1/30 ～ 1/2000 秒
・ISO 感度	：ISO150 相当（AUTO 時）、ISO200、ISO400、ISO800
●距離調節	
・AF 方式	：通常撮影領域；TTL-CCD 方式、マクロ領域；TTL-CCD 方式
・AF 測距範囲	：通常撮影領域；約 24cm ～∞、マクロ領域；約 1cm ～ 24cm

●内蔵フラッシュ
・撮影距離　：約 0.6m ～ 2.5m
・動作モード　：発光禁止 / 強制発光 /AUTO/ スローシンクロ / 赤目

■画像データ録再部
●画素数（ピクセル）
・静止画　：2272 × 1704、1120 × 840、640 × 480
・文字　：2272 × 1704、1120 × 840
・動画　：288 × 216
●ファイルフォーマット
・静止画　：圧縮；JPEG（Exif2.1）、非圧縮；TIFF（YUV）
・文字　：TIFF（G4 MMR 方式）
・動画　：AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠）
・音声　：WAV（Exif2.1）
●カメラファイルシステム規格
：DCF ※ DCF は JEITA で標準化された『(Desigin rule for Camera File system)』規格の略称です。
● DPOF　：Digital Print Order Format Ver1.1
●圧縮方式　：JPEG ベースライン方式準拠
●画像サイズ
・2272 × 1704　：F；約 1.5MB/ 画面、N；約 726KB/ 画面、E ；約 363KB/ 画面、NC；約 7.7MB/ 画面
・1120 × 840　：F；約 470KB/ 画面、N；約 235KB/ 画面、E ；約 118KB/ 画面、NC；約 1.8MB/ 画面
・640 × 480　：F；約 152KB/ 画面、N；約 72KB/ 画面、E ；約 40KB/ 画面、NC；約 614KB/ 画面

■入出力端子
●電源入力　：5V（AC アダプター）
●ビデオ出力　：1.0 Vp-p（75 Ω）
● USB　：専用

■ボディー
●三脚ネジ　：あり（1/4-20UNC）
：長さ 6.0mm 以下

■電源
●本体バッテリー
・電池種類　：充電式リチウムイオン電池
・電圧　：3.7V（1 本）

■デート保持時間　：約 20 日
■オートパワーオフ　：OFF ／約 1，3，5 分以上 未使用時

■内蔵メモリー

・容量 : 8MB

■記録再生可能なメモリカードの種類

●メモリ種類 : スマートメディア（4MB ～ 128MB）

・動作電圧 : 3.3V

リチャージャブルバッテリー（DB-20L）

●公称電圧 : 3.7V

●公称容量 : 1300mAh

●外形寸法 : 55.5mm（幅）× 20.4mm（高さ）× 19.8mm（奥行き）

●質量 : 約 42g

●使用温度範囲 : 0 ℃～ 40 ℃

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

付録

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満１年間無料修理いたしますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、リコー修理受付センターにご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ①使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。
   ②使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
   ③火災、天災、地変等による故障。
   ④保管上の不備（高温多湿や防虫剤の入った場所での保管、電池等の液漏等、カビ発生等）による故障。
   ⑤浸（冠）水、飲物（ジュース、酒類等）かぶり、砂（泥）入り、ショック、落下等による故障。
3. ご購入日から満１年間経過した後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
5. 保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
6. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
7. 無償修理期間中であると否とにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

＊以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊以上の保証規定は本製品に関する保証書にも　同様の趣旨で記載されています。

9. 本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、７年を目安に保有しております。なお、期間後であっても修理可能の場合もありますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお問い合せください。
10. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

- 修理にお出しになる前に、バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
- 修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。

索引

五十音別索引

記号 / アルファベット

ア

カ

サ

機能別索引

■撮影モード（・・・・）

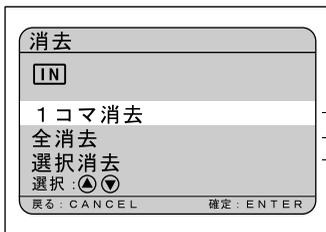
◆ MENU ボタン

撮影モード 1／4
音声付き撮影 ＯＮ
フォーカス ＡＦ
フラッシュ光量 標準
赤目モード ＯＦＦ
ＩＳＯ感度設定 ＡＵＴＯ
選択： 変更：
戻る：ＭＥＮＵ 確定：ＥＮＴＥＲ

撮影モード 2／4
日付入れ撮影 ＯＦＦ
分割撮影 ⇨
シャープネスモード ＯＦＦ
モノトーンモード ＯＦＦ
ネガモード ＯＦＦ
選択： 変更：
戻る：ＭＥＮＵ 確定：ＥＮＴＥＲ

■再生モード（▶）

◆ MENU ボタン

右 90 度、左 90 度、180 度に回転して表示 P.93
消去できないように、ファイルをプロテクト P.94
プリントサービスで出力する際に、枚数などを設定 P.95

◆🗑ボタン

■ SET モード（SET）

SET 1／3
フォーマット
モード保持設定
画像確認時間 1 秒
オートパワーオフ 1 分
ブザー音 ON
選択：▲▼ 変更：◀▶
確定：ENTER

- 内蔵メモリー / スマートメディアをフォーマット P.104
- カメラの設定内容を記憶 P.105
- 撮影後の画像確認時間を設定 P.106
- オートパワーオフの設定を行う P.107
- ブザー音のオン / オフを切り替える P.107

- 液晶モニターの消費電力を少なくする P.108
- ファイル名を連番にするかどうかを設定 P.108
- 日付・日時を設定 P.34
- カメラをテレビに接続するとき、ビデオ方式を切り替える . P.109
- 液晶モニターの表示言語を設定 P.110

SET 3／3
設定初期化
選択：▲▼ 変更：◀▶
確定：ENTER

- 設定内容を初期状態に戻す P.110

リコー修理受付センター

リコー修理受付センター

0120-053956

●受付時間：月曜日～金曜日　9:00～17:00
（土、日、祝日を除く）
●取扱商品：デジタルカメラ

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されている修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保証期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保証規定第２項の記載に該当する場合は、保証の対象にはなりません。
＊各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。
＊本サービスは、日本国内のみ有効です。

●たくはいサービス●　着払い宅急便にてお送りいただくサービスです

リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと、その日のうちに梱包材料および送り先を印刷した着払い伝票をお送りします。お送りした材料で梱包し、最寄りの宅急便取扱店へお持ちください。

（期間）宅急便取扱店がお預かりしてから、弊社営業日で 10 日間ですが、修理完成後あらためてお届け日をご連絡させていただきます。

（料金）保証内（無料）修理の場合は料金はかかりません。保証外（有料）修理の場合には修理料金を配達の際に申し受けます。

●ひきとりサービス●　訪問・お預かりサービスです

リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと、運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、機械を梱包してお預りします。

（期間）宅急便取扱店がお預かりしてから、弊社営業日で 10 日間ですが、修理完成後あらためてお届け日をご連絡させていただきます。

（料金）初年度保証期間中でも有効ですが、引取り梱包料金 2,000 円を別途申し受けます。
初年度保証期間以後は規定料金に 2,000 円が加算となります。修理料金は配達の際に申し受けます。

●こうかんサービス●　同一機種との訪問・交換サービスです

本サービスは機械を連続してご使用になっていて、修理のためにお預りできないお客様に最適です。リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと、お使いの機種と同一機種を運送業者が持参し、交換致します。

※本サービスは初年度保証期間終了後有効となります。

（期間）お申込み日から弊社営業日で３日以内に交換いたします。

（料金）故障内容で決めさせていただいた規定料金に引取梱包料金 2,000 円と交換料金 5,000 円が加算となります。料金は配達の際申し受けます。

※新たにご提供する機械については、新品ではないこと、および外観、色合い等が交換前の機械と同一でないことをあらかじめご了承願います。
※本サービスにより回収した機械のお客様へのご返却はいたしかねます。
※回収する機械のお客様のプライベート情報や、必要なデータ等が残ったままにならないように、十分ご注意願います。
※限定販売品や名入れ・刻印等を施した製品は対象外とさせていただきます。

●もちこみサービス●　サービスステーションへ御持参いただくサービスです

お買い上げのご販売店、または「リコー製品サービス相談窓口」一覧に記載されている最寄りのサービスステーションにお持ちいただいた場合でも修理の受付をいたします。修理期間、料金はお持ちいただいた際におたずねください。

時間帯指定サービス

たくはいサービス、ひきとりサービス、こうかんサービスの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は10：00～20：00までの間で、時間帯区切りは2時間です。

①10：00～12：00　②12：00～14：00　③14：00～16：00
④16：00～18：00　⑤18：00～20：00

＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

お願い

1. 修理に際し、メモリー等記憶装置内のデータの保存については保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 修理におだしになる前に、バッテリーのチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いします。
3. 修理個所によっては規定以上の日数がかかる場合がございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
4. 修理ご依頼の際は、故障内容と故障個所をできるだけ詳しくお申し出ください。
5. 「リコー修理受付センター」は上記取扱商品の故障に関する修理方法、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。
   修理以外の製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せ、ご相談は巻末に記載の「リコーお客様相談室」や「■インターネット」「■ @nifty/ リコーファンフォーラム」までお願い申し上げます。

付録

リコーお客様相談室

電話番号をかけ間違えないようにご注意ください。

お客様相談室

弊社製品に関する要望、その他お困りの点がございましたら、「お客様相談室」にご連絡ください。

●この電話は東京都港区のリコー本社でお受けいたします。
●受付時間：9～17時（土、日、祝日を除く）

インターネット／パソコン通信でも本製品の情報提供やご質問をお受けしています。

■インターネット
http://www.ricoh.co.jp/dc/index.html

■ @nifty ／リコーファンフォーラム
GO FRICOH

■札幌支店	札幌市北区北七条西 4 丁目 12 番地（ニッセイ MK ビル）〒 060-0807	☎ 011（700）5551
■仙台支店	仙台市宮城野区榴岡 3-7-35（安田火災仙台ビル）〒 983-0852	☎ 022（292）2025
■関東支店	さいたま市大宮仲町 2-60（仲町川鍋ビル）〒 330-0845	☎ 048（645）1011
■東京支店	東京都中央区銀座 6-14-6（リコー三愛ビル）〒 104-8155	☎ 03（3543）5111
■名古屋支店	名古屋市中区丸の内 2-20-19（名古屋東京海上ビル）〒 460-0002	☎ 052（201）8211
■大阪支店	吹田市江の木町 34-5（リコービル）〒 564-0053	☎ 06（6337）1161
■広島支店	広島市中区東平塚町 4-21（リコー三愛ビル）〒 730-0025	☎ 082（243）2101
■福岡支店	福岡市博多区博多駅東 2-1-1（福岡リコー近鉄ビル）〒 812-0013	☎ 092（441）8731
■ MA 事業部	東京都中央区銀座 6-14-6（リコー三愛ビル）〒 104-8155	☎ 03（3543）5111

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に
大豆から作られたインキの使用を推進しています。

株式会社 リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
Tel : (03)3479-3111(代表)

2001年10月 L700-1544A